

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 14 日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏 名	後藤一樹
研究課題	社会関係の編成過程に関するビジュアル・ナラティブ研究				
研究キーワード	映像社会学、フィールドワーク、ライフストーリー研究	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	該当なし		該当なし

1. 研究成果の概要

本年度は、四国四県における四国遍路の社会的営みにかかる社会関係の編成過程を、膨大な撮影データにもとづいたビジュアル・ナラティブ研究の方法論で分析し、その成果として書籍（分担執筆）を公刊した（研究成果①）

また、ナラティブ研究として、いくつかのインタビュー調査を継続的に行ったが、そのなかの成果の一つとして、ある社会学者の聞き取りにもとづくライフストーリー（生活史）に関する論文を発表した（研究成果②）。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

- ①後藤一樹「四国遍路につつまれて——自己の死と歴史実践としての蘇生」笠井賢紀・田島英一編著『パブリック・ヒストリーの実践：オルタナティブで多声的な歴史を紡ぐ（慶應義塾大学東アジア研究所叢書）』（慶應義塾大学出版会、2025 年 1 月）第 12 章。
- ②後藤一樹「身体の社会的愉しみ——社会学者・岡原正幸のライフストーリー」『哲学』第 154 集（慶應義塾大学三田哲学会、2025 年 3 月）49-87 頁。
- ③後藤一樹「仙波希望『ありふれた〈平和都市〉の解体——広島をめぐる空間論的探求』書評『週刊読書人』2025 年 3 月 14 日号掲載。
- ④後藤一樹「岡本昌也演劇作品『怪獣は襲ってくれない』劇評」岡本昌也演劇作品『心臓グミ』公式ホームページ、2025 年 3 月掲載。

【学会発表等】

3. 主な経費

研究データの整理、ドキュメンタリー動画素材の分析と編集、インタビューの書き起こしなどにかかる研究補助員への人件費（謝金）として主に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【科学研究費】

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「ミュニシパリズムと市民・住民のエンパワメントに関する映像社会学的研究」2024年4月 - 2027年3月（研究分担者）（JP24K00320）。

【その他の助成金】

千葉商科大学 学術研究助成金 2024年度学術研究助成金（共同研究）「ポストフォーディズム時代の労働と社会的連帯に関する研究 ——非正規雇用の労働形態と生活実態に着目して」2024年4月 - 2025年3月（研究代表者）。

以上

（本文は2ページ以内にまとめること）